



## 第13回総会 日時 2013年5月12日(日) 15:00~16:30

場所 愛川町中津公民館 2階茶室 \* 13:00~14:00観察会 集合尾山入口

お願い 総会の出欠、及び委任状は、メール FAX、案内状返信にて5月11日までに事務局へご連絡をお願いいたします。(会計報告・予算・役割分担等当日配布)

### 第1号議案 2012年度活動報告

#### 愛川町とまち美化アダプトについて、合意書を交わしました。

アダプトの場所は八菅橋上流、2011年に開通した町道幣山下平線沿いの尾山耕地入口沿道。ホタル生息環境保全のため、車ライト遮光ヨシズを6月に張らせてもらっている場所。この地域の里地里山景観になじむ「八菅・尾山 野の花園」をイメージしながら地域に自生する在来植物を大切にしたい取り組み、外来種の除草や清掃活動(ポイ捨てゴミを拾う)などを始めました。

9月厚木植物会との合同観察会では在来種カワラケツメイ・マルバヤハズソウ・ヤハズソウの花も観られました。カワラケツメイ群落は、神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006に「生育地である河川敷の状況が悪化し、減少傾向にある」として掲載されています。新設町道をつくる際に盛り土された土壌には、尾山耕地の水田を掘った土も使われています。水田になる前は河川敷であったそうですから、かつて生育していたカワラケツメイやマルバヤハズソウなどの種子が眠っていて、目をさましたのでしょうか。



アダプトに咲いたカワラケツメイの花

| 活動日    | 活動内容   | 参加  |
|--------|--|-----|
| 7月29日  | 清掃 除草 (外来種オオブタクサ・セイタカアワダチソウなど)                             | 2名  |
| 8月4日   | 清掃 除草 同上   | 2名  |
| 8月21日  | 清掃 除草 同上   | 4名  |
| 9月15日  | 在来自生植物の観察・確認 (厚木植物会合同企画)<br>カワラケツメイ・マルバヤハズソウ・ヤハズソウ等確認      | 12名 |
| 9月24日  | 清掃 除草 (外来種アメリカゼンダングサ)・ハッカ移植                                | 1名  |
| 10月1日  | 清掃 除草 (外来種オオニシキソウなど)                                       | 1名  |
| 10月21日 | 清掃 除草 カワラケツメイの種採取  | 1名  |
| 11月5日  | 清掃 除草 (外来種セイタカアワダチソウ・アメリカゼンダングサなど)メドハギ確認                   | 1名  |
| 11月26日 | アダプト看板設置   | 2名  |
| 12月11日 | 清掃 除草 (枯れ草刈)   | 1名  |
| 2月9日   | 清掃 在来自生植物 ミズキ(1本)の移植                                       | 1名  |
| 2月21日  | 在来自生植物の確認 タチツボスミレ ゲンノショウコ<br>ジャノヒゲ・キチジョウソウ・ニリンソウ(葉)・ノイバラ等  | 2名  |
| 3月4日   | 清掃 除草 (セイタカアワダチソウなど枯れ草の一部)                                 | 1名  |
| 3月7日   | ヤマブキ(約10本)の移植  | 3名  |
| 3月17日  | 清掃・オドリコソウ・ヤブカンゾウ・ヤブツバキ(1本)移植<br>在来自生植物 コクサギ・クサイチゴ・ニリンソウ花確認 | 4名  |

❖ 右の表は愛川町への報告内容です。

2012年度 継続して調査活動に取り組みました

❖ 5月27日・11月14日中津川にて県水源河川モニタリング調査 県環境科学センターの同定研修に参加

❖ 尾山耕地 中津川周辺の環境変化を5年間記録し、次期5年間の登録が決定

神奈川県水源河川モニタリング調査 環境省のモニタリングサイト1000里地調査(里モニ)

植物相は毎月1回(2011年諏訪部さんが発見・採集した県絶滅種ニッポンヌビゲの再確認はできず、今年に期待) 水環境は各季節1回 カヤネズミ(夏・冬)、カエル類1~3月・ホタル類6~8月 植生図(人為的インパクト2011年)調査記録報告書提出。2013年の湧水池のヤマアカガエル卵塊数が激減し、尾山耕地のカヤネズミの巣の分布も変化している様子。

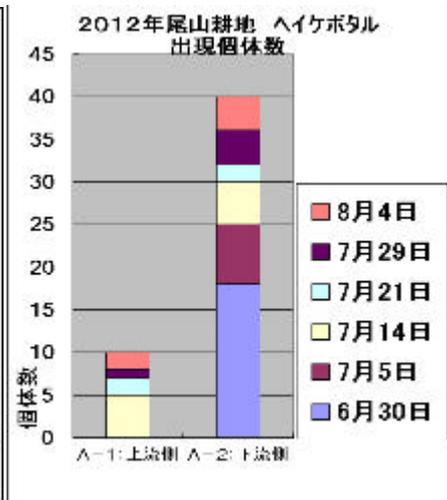
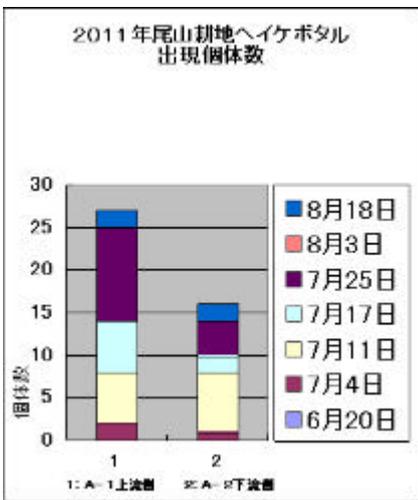
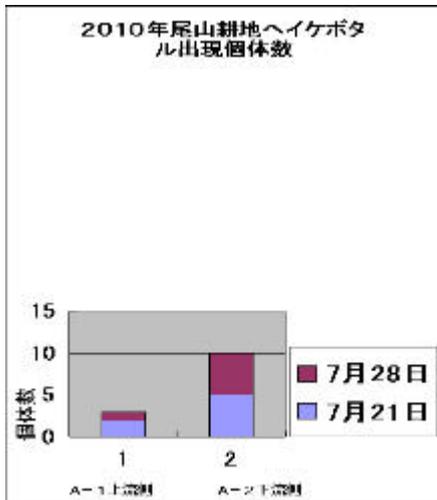
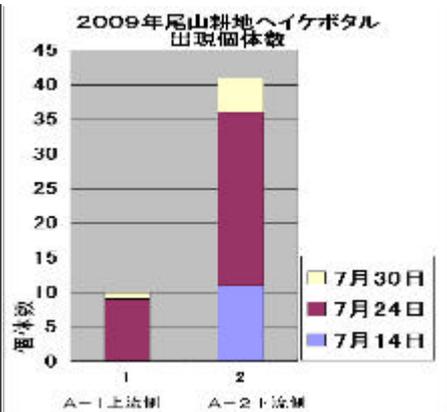
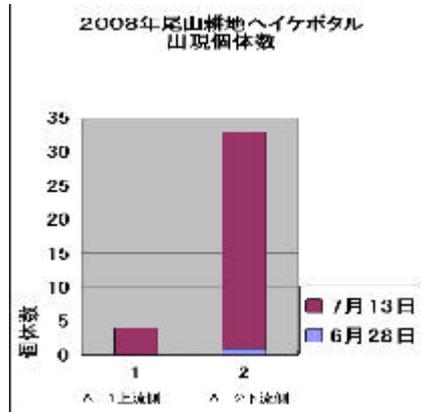
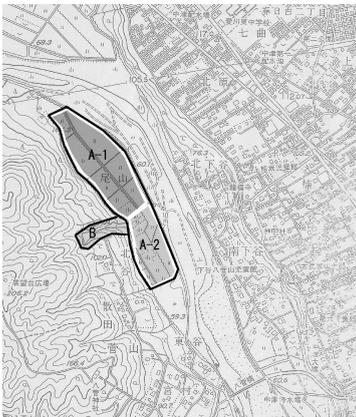
引き続き、第3期(平成25~29年)一般サイトに申請して、決定通知を受けました。

調査項目も継続します。鳥類やチョウ類調査も担当があれば、途中から調査項目として可能だそうです。

里モニ調査でわかったヘイケボタルの減少。原因のひとつに、新設町道の街路灯や車のライトの影響。

調査結果の出現数(グラフ)の変化からわかること。水田農法に変化がない状態で減った原因として、2009年対岸陸橋のライトが見えるようになったことや、2011年4月町道の供用開始などから、繁殖が阻害されたと考えられます。

一方、出現数の増加は水田の畦ができたことや遮光のためのヨシ効果によると考えられます。



A-1(尾山耕地・上流側) 区画整理が進み、ほとんどの水田はコンクリート畦 2008年~2010年出現は少ない)

2008年7月13日4個体 山側最上流に、無農薬 無化学肥料、土畦(さなぎになる場所)の水田ができる

2011年7月25日に11個体 全調査日の出現数合計27個体に増加 新設町道を通る車のヘッドライトを遮光するため、寒冷紗設置 2012年全調査日の出現数合計10個体 前年の約1/3に減少

減った理由: 2011年4月に供用開始した町道を通る車のヘッドライトがガードレールを越えて強照らすため、ヘイケボタル・オスとメスの光の交信が妨げられ、繁殖がむずかしくなり、翌年2012年に減少したと考えられる。車のライトを避けるように山側水路の際に光っていた。わずかな寒冷紗の設置では、影響を防ぎきれないが、多少でもと折って

A-2(尾山耕地・下流側)

2008年7月13日32個体 林縁と土畦のある水田、人工光の影響もなく、良い繁殖環境

2009年7月24日25個体 3月河畔林伐採で対岸陸橋からの車ライトの影響を懸念

2010年 7月 21日・28日 共に5個体 調査日数が少なく 前年の影響は不明

2011年 7月 11日 7個体 計 16個体に激減 オスは林で光り ほとんど飛んでいない

2012年 6月 10日 車のヘッドライトを遮光するため 尾山耕地の入り口坂にヨシズ24枚を設置

6月 30日 18個体 遮光対策のヨシズ裏水路際、ゲンシボタルに混じり、そこでは観なかったヘイケボタルが光る

## 環境保全 再生活動に取り組みました



写真 左 中 ホタル生息環境保全のためのヨシズ張り 2年目

右 :12月 25日湧水池の再生作業

- ❖ 水環境調査地の湧水池。道路下岩盤から湧水を引いているパイプの流量が夏から非常に少なくなり 反面斜面の滲出水が増えたのですが、池まで流れ込まず、干上がったため、急遽、滲出し水を溜めで池に誘導する再生作業をしましたが、2013年ヤマアカガエル調査で、湧水池の卵塊数 12個、例年 40個前後約 1/3に減少。
- ❖ 継続して、尾山耕地休耕田の池のアメリカザリガニ駆除に取り組みました。

## 他団体との協働をすすめました。

- ❖ 神奈川トンボ調査 保全ネットワーク:ルートセンサスを4~12月約10日おきに実施した諏訪部さんが、7月県博物館にて開催された国際トンボ学会議で調査結果を渡辺さんの協力を得て、発表。トンボや全水田のヤゴの調査データから、新設道路や苗に撒くフィプロルなどの浸透性農薬の影響が推察されます。
- ❖ 東海大北野ゼミ モートナイトトンボ・イトアメンゴ調査 毎年6月末にゼミの3年生の授業として、4年生交えて、



写真 左 :6月ヒメマルマメタニシ 約7mm (ヤゴ調査・田んぼの生きもの調査) 右 :8月21日資生堂ボランティア親子参加

中 :6月30日東海大北野ゼミとモートナイトトンボ・イトアメンゴ共同調査

- ❖ 桂川・相模川流域協議会 田んぼの生きもの・アメリカザリガニ調査 駆除活動
- ❖ NPO 法人神奈川県自然保護協会 ・12月9日野生動植物保全フォーラム開催の運営会議メンバー 尾山耕地の休耕田池の湿地ビオトープ保全要望書を農政課に提出 生物多様性ホットスポットに尾山耕地を推薦
- ❖ まちづくりネットワーク中津川に団体として入会し、協働のまちづくりなどについて情報交換をしました
- ❖ 日本自然保護協会経由による、資生堂社会貢献活動の社員ボランティア (池袋の河原さん親子)に感謝。
- ❖ 展示活動 愛川町町民活動サポートセンター ふるさと祭り 野生動植物保全フォーラム、中津公民館まつり

## 課題

遮光対策ヨシズに効果がみえたが、ガードレールを超える光など、ヘイケボタルの繁殖には厳しい光環境があります。

湧水池の安定した湛水。ヤゴやトウキョウタスマガエルなどのためにも年間を通した水の維持が必要です。

ヤマアカガエル等の安定した繁殖 生息環境。2013年尾山耕地の水路 (山側・中央・道路側)のヤマアカガエル卵塊は、14個。用水路は5月までは雨水が頼りで、干上がってしまいます。山側排水路は沢の増水時に流されます。

水稻苗への浸透性農薬による生きものへの影響。トンボルートセンサスやヤゴ調査、田んぼの生きもの調査、モートナイトトンボ・イトアメンゴ調査などにより、農法と生き物たちとの関係が考えられます。 湿地ビオトープの保全再生

**第2号議案 2013年度計画 概要 \*会員としていただくこと、会への要望などを教えてください。**

- ❖ **環境保全再生活動** ・2011年購入のホタル繁殖環境保全遮光ヨシズが劣化のため、繰越金から購入します。  
休耕田池の再生・アメリカザリガニやアライグマ駆除、愛川町まち美化アダプト活動 地域在来植物の花園づくり他
- ❖ **調査活動の継続** 環境省全国モニタリング1000里地調査(里モニ)2013~2017登録:水環境 植物相 ホタル類・カエル類・カヤネズミ・人為的インパクト、神奈川県水源河川モニタリング、東海大北野ゼミとのモトノイトトンボ・イトアメンボ共同調査 6月末、トンボレポートセンサス4~12月・ヤゴ調査 6月、桂川・相模川流域協議会田んぼの生きもの・アメリカザリガニ調査 6月~9月など
- ❖ **ヤゴ調査データと農法 耕作履歴等の聞き取り調査から、赤とんぼの生息環境保全 再生を考えます。**  
浸透性農薬(フィプロルなど)使用状況、農法履歴、中津川・尾山耕地周辺の歴史等を聞き取り記録します。  
**トンボの観察会**(子供たちに赤とんぼが氷田で育つことなどを知ってもらう観察会) 農政課・有機農法農家・安全な食を考える会などにご協力いただき、子供たちの生きものへの関心を高め、米の有機栽培推進企画とする。
- ❖ **愛川町の協働事業や生物多様性あいかわ戦略策定などの提案について、他団体とも検討してすすめます。**
- ❖ HP、展示、観察会などの企画を通して、会員募集や企業の社会貢献事業にボランティア募集をします。

**団体会員として継続参加します** ラムサール・ネットワーク日本 田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトに参加登録を検討。

桂川 相模川流域協議会総会 会報誌編集委員会(諏訪部:トンボシリーズ・流域紀行)  
田んぼの生きものアメリカザリガニ調査(大木:市民部会選出幹事)

NPO 法人神奈川県自然保護協会 野生動植物保全フォーラム運営会議参加 フォーラムに展示参加

まちづくりネットワーク中津川(中津川を愛川に変更) 当会アダプトも『ほとベンチ』設置を検討し、道路課に相談予定。

- ❖ 活動内容にそつた助成金申請を随時検討。応募内容はメール等で検討して、詳細は事務局に一任します。
- ❖ **規約附則の変更について** 現事務局大木の健康上の都合により、来年度又は、状況により今年度途中から事務局担当の交代や役割分担をお願いします。新事務局が決定次第、附則を変更します。

**第14回総会に向けて、総会議決方法として、出席者の過半数で議決、事前に会員の意見聴取をすること。**

また、規約のうち会員 会費規定等を見直したいと思っておりますので、ご意見をお願いします。

寒川町の渡辺さんが退会されました。寒川町でのアライグマ駆除、トウキョウタリマガエル調査他の地域活動にお忙しい中、当会の植物相・ホタル・田んぼの生きもの・河川等の調査、湧水池再生、アダプト除草他活動に、遠方よりご参加いただきました。豊富な生物知識をお持ちで、相模川水系初記録か?のヒメマルマメタニシを環境科学センターに同定依頼して下さいました。また、地域会員募集や会運営等に貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

**日程案** 日常の活動日程は、ホームページ・<http://aikawasizen.net/> トップページからスケジュール表をご覧ください。

6月9日(日)9:30~ 予備日16日尾山入口遮光・ヨシズ張り  
6月30日(日)9:30~ 予備日7月6日(土)  
モトノイトトンボ・イトアメンボ共同調査 集合 八ヶ岳の沢  
15:00~ カヤネズミ調査 19:00~ ホタル調査(毎週末予定)  
6月中旬 ヤゴ調査 全水田のヤゴを網ですくい同定  
6月~7月アダプトにヤブツバキなど移植予定

当会が会員になっている団体の日程

NPO 法人神奈川県自然保護協会(運営会議はほぼ毎月)  
野生動植物保全フォーラム 今年度は厚木市共催  
11月30日・12月1日予定 映画と講演 展示 厚木市文化会館  
桂川 相模川流域協議会総会(幹事会・市民部会はほぼ毎月)  
5月19日(日)午後1時~ サンエールさがみはら 講演と活動発表  
10月26日予定 流域シンポジウム 山梨県

**<あいかわ自然ネットワーク会報>** あめんぼ通信 35  
発行日 2013年5月1日  
会費 振替口座名:名称 あいかわ自然ネットワーク  
ゆうちょ銀行・口座番号:00210-1-69500  
会費:賛助会員(会報 案内送付)1,500円  
会員2,000円 家族会員2000円 学生会員500円  
お申し込み・問い合わせ あいかわ自然ネットワーク事務局  
大木悦子 神奈川県座間市相模が丘1-25-4-101  
TEL&FAX 042-851-6708  
五月女芳子 神奈川県愛甲郡愛川町半原3076-2  
TEL&FAX 046-281-2907

**<編集後記>**

昨年度の夏から秋にかけて、家の都合でほとんど動けない状態になり、加えてパソコンもダウン。会報発行等の送付も滞って申し訳ありませんでした。

生物多様性地域戦略策定をめぐる、お隣の厚木市では2012年度に策定し、先進的な取り組みが始まっています。

全国の市町村はこれからですが、愛川町でも生物多様性を保全再生する取り組みがすすむといいですね。(え)